

## コラム ～学生からのメッセージ～



法学部政治学科  
4年  
岡田 里美さん

私がC-compassを活用したのは、主に2年次の金融機関での春季インターンシップと3年次の中国（上海）日系企業8社の企業研究プログラムです。

インターンシップでは、企画部に配属され、広報誌や社内誌の文章校正やホームページの作成をしたり、窓口業務を体験できたことで専門分野の基礎知識を得ることができました。一方、企業研究プログラムでは、実際に中国ビジネスの最前線で活躍されている方の会社へ訪問させて頂きました。様々な業界を訪問し、日本とは異なった中国での事業内容を伺い、海外消費者のニーズに触れて中国市場の大枠を捉えることができました。インターンシップは、社会人の方々と交流することで、働くことへのイメージが明確化し、就職活動への意識が高まりました。

この様な取り組みに参加するにあたり、参加目的を掲げ、参加成果をアウトプットするためにC-compassを利用しました。

インターンシップは、明確な目的を持ち積極的に参加する姿勢が前提となります。また、インターンシップに参加した中で得た知識、経験を振り返り、今後の大学生活や就職活動に活かし、還元することが非常に大切なことです。

C-compassを利用することで、参加した経験や活動を明文化でき、目に見える形に落とし込むことができました。その結果、PDCAサイクルを意識した行動ができ、満足できる成果を出すことができました。私が考えるC-compassの利点の一つは、コンピテンシーの評価から自分の強みと弱みを理解し、自分の軸を捉えることができることです。

例えば、企業研究プログラムを通じて、とりわけ「傾聴力」を強みとして理解できました。プレゼンテーションを発表するまでの過程で、お互いに意見交換していく中、一人ひとりが異なる意見や考えを持っているため、様々な刺激のある考えに触れられる反面、調整することの難しさを感じました。そのような中、グループで一つのものにまとめあげるために、私は相手が学び得たことをしっかりと汲み取るよう努力しました。結果として、プレゼンテーションの発表は、グループとしてのまとまりが生まれました。

C-compassから得た気付きや発見は、今後の就職活動や将来のキャリアビジョンに大きく影響し、私自身を見つめるきっかけにもなりました。

大学生活は多くの出会いや経験が得られる絶好の機会であり、自分自身の教養をより深めることができる時間です。その貴重な時間の中で得たものをより良いものにし、今後の自分をより一層高め磨くためにC-compassは、あなたのサポーターとして大きな力を発揮してくれると思います。皆さんの大学生活がより充実し有意義なものとなるよう、是非C-compassを利用してみてください。

## コラム ～学生からのメッセージ～



理工学研究科  
経営システム工学専攻  
2年  
小林 晴行さん

C-compassは、大学院生にとってあまり馴染みのないシステムだと思います。私もこの夏に参加した上海企業訪問プログラムを通して、初めてC-compassを利用しました。そこで、C-compassは能力を客観的に測る事ができる、非常に良いものさしだなと感じました。併せて、TAとしてこのシステムを利用することのメリットも、私の体験を通してお伝えしたいと思います。

私が参加した上海企業訪問プログラムは、1週間の期間中、現地の日系企業を訪問し、中国人学生との意見交換などを通して、グローバル人材になるためのヒントを得るというプログラムでした。

プログラムに際して、私はC-compassを出発前と終了後の2回、利用しました。まずは、出発前。プログラムにおける目標設定をした時のことです。プログラム中の行動目標をどのように設定するか、具体的にどのような能力を伸ばしたいのを考える際に、コンピテンシー項目を参考にしました。それらを参考にすることで、非常に具体的な目標設定をすることができました。それぞれのコンピテンシー項目は、能力別に分類され、さらにレベル毎の能力も具体的に明示されているため、自分が到達したいレベルと、現状とのギャップを知る事も簡単でした。

帰国した後、振り返りをする為に、2回目の利用をしました。目標設定の段階で、具体的に目標を設定できていた為、振り返りはスムーズに行なうことができました。加えて目標に対して達成できた点、できなかった点が明らかになったことで、これからの行動目標を立てることもできました。

このように具体的に目標を設定、成果を確認できることはTAとして学生を指導する際にも有効だと考えています。今までは指導をする際に、コンピテンシーの項目を参考に、生徒に伸ばして欲しい能力を設定し、指導を行なっていました。しかし、それらの成果を確認する方法や、生徒が伸ばしたい能力を確認することはできませんでした。そこで、C-compassを利用する事で、生徒の伸ばしたい能力、さらには指導をしたことで能力がどの程度伸びたのかどうかを、客観的に知る事ができます。これはTAとして生徒と接する上で非常に有効であると私は考えています。

これらのように、能力を客観的に測ることのできるものさしとして、C-compassは普段の学生生活においても、TAとして学生を指導する際にも、非常に有用なシステムだと私は考えています。このコラムを通じて、院生、学部生問わず、このシステムを使ってみようかなと思って頂けると、嬉しいです。